



令和2年度 第1回若手の会 Web 勉強会について

副委員長 鴫田 駿 (東北大学)

Report of the 1st WELNET online group seminar

by TOKITA Shun

溶接学会 若手会員の会 (若手の会) では、若手会員同士の交流や情報共有を目的として勉強会を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面での開催を見送り、オンライン会議ツールを用いた Web 勉強会を開催しましたので、その概要について紹介いたします。

若手の会の勉強会は、平成 26 年度より開催されております。発足当初は若手研究者間の知識・技術ベースアップや、将来を担う研究グループづくりを目標としたクローズドな講演会として開催されました。その後、より多くの若手会員の皆様にご参加いただくために、話題提供に基づくディスカッション形式の公開イベントに切り替えられ、年に数回開催される若手の会の研究会・施設見学会と併催されてきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面での研究会や勉強会の開催を見合わせておりましたが、4月にメール審議にて行われた若手会員の会 運営委員会で勉強会の Web 開催が提案され、準備を進めてまいりましたが、開催する時間帯やツールについては若手の会運営委員会の皆様にアンケート調査を行って決定し、若手の会の予算より Web 会議ツールのアカウントを購入して実施いたしました。

第1回の Web 勉強会は、コロナ禍で研究集会への参加が困難になっている若手会員に新たなネットワーク形成の場を提供することや、様々な地域・所属における感染症対策について情報交換することを目的として、「私の周りのコロナ対策」を題材としたディスカッションを行いました。(なお、この勉強会は開催日(令和2年7月17日)における身近な感染症対策について情報交換を行ったもので、最新の感染情報や医学的な知見とは異なる可能性があることを申し添えます。)

令和2年度 第1回若手の会 Web 勉強会

開催日時：令和2年7月17日(金) 15:00~16:30

開催方法：Web 会議ツールを用いて実施

参加費：無料

参加者数：14名

プログラム：

- (1) 開会挨拶 大阪大学 庄司 博人 氏
- (2) 趣旨と注意事項説明
- (3) 参加者自己紹介
- (4) 話題提供 「私の周りのコロナ対策」
大阪大学 庄司 博人 氏
IHI 小嶋 和也 氏
熊本大学 古免 久弥 氏
岩手県工業技術センター 久保 貴寛 氏
- (5) フリーディスカッション
- (6) 閉会の挨拶・スクリーンショット撮影

オンラインでの開催にあたり、会議中の録音、録画はご遠慮いただきました。また、研究や技術について情報共有する場合には、ご発表者に公開の可否についてご確認いただくようお願いいたしました。参加条件は、「Welnet メールングリスト(若手の会のメールングリスト)を受信された方で、ビデオカメラ ON での自己紹介が可能な方」として、お申込みいただいた方に招待 URL をお送りする形で参加受付を行いました。

開会の挨拶と趣旨説明に続いて、参加者一人一人の自己紹介の時間を設けました。普段の研究集会に比べて一人当たりの持ち時間を多く設けて、参加者の皆様のバックグラウンドや研究内容についてもお話いただきました。

話題提供では、様々な地方・所属の皆様から身の回りの感染症対策についてご紹介いただきました。1件目は庄司氏(大



図 Web勉強会の様子

阪大学)より話題提供いただきました。感染者数が多い大阪では緊急事態宣言解除後も学生を曜日ごとにグループ分けし、登下校時間を記録・共有するなど、研究室内の三密を避ける対策が紹介されました。2件目は古免氏(熊本大学)より話題提供いただきました。熊本県では感染者が出ない期間が長く、新規感染を防ぐことに主眼を置いた対策が実施されました。一方で、学生の研究室での活動や実習系の科目の対面での実施など、研究教育活動と感染症対策との両立への試みについても紹介されました。3件目の小嶋氏(IHI)からは、職場における勤務形態の変遷や三密対策、グループチャットやWeb会議を利用した業務のオンライン化について紹介いただきました。また、オンライン化による業務効率アップや作業環境の改善などのコロナ対策のメリットや課題点についても議論されました。最後に、久保氏(岩手県工業技術センター)より話題提供いただきました。岩手県では勉強会実施日において県内で感染例がなく、緊急事態宣言中の県外出張禁止など、新規の感染を防ぐための対策が実施されました。また、地元企業とのコラボレーションによる研究事例として、ドアノブ等に取り付けることで手を触れずにドアを開閉できるドアオープナーの研究開発についても紹介されました。話題提供への質問は口頭及びチャットで受け付け、その後のフリーディスカッションでも活発な情報交換が行われました。Web勉強会となったことで、普段遠方からの研究会、勉強会への参加が困難な方や、若手の会の活動をあまりご存知ない企業や学生の皆様にも参加いただき、リラックスした雰囲気での交流することができました。

今回のWeb勉強会での反省点や課題を踏まえ、今後も共通のテーマに関する話題提供とディスカッションという形でWeb勉強会を継続していく予定です。開催テーマについて若手会員の皆様へアンケートを実施したところ積層造形

や固相接合をはじめ多くの意見が寄せられ、今後のWeb勉強会への期待が感じられました。

一方で、オンラインでの講演会における研究発表には知的財産保護の観点からの懸念も多く、対面での研究発表に比べて事前手続きや資料作成において話題提供者の負担が増えてしまう傾向にあります。また、開催時間については日中の研究会とその後交流会いずれについてもご希望が多く、特定の曜日を交代勤務としているというご意見も寄せられているため、特定の形式にとらわれずいろいろな開催方法にチャレンジすることが必要だと考えております。全国大会や研究委員会での前例を参考にさせていただきながら、参加者と話題提供者それぞれにとってメリットのある開催形式を検討・実施してまいります。

感染症対策の影響で研究交流ができない日々が続いておりますが、新しい生活様式のなかでも若手会員の交流を促進できるような活動を進めて参りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。